

④ 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

1. 主な取組

- ・食品表示管理士検定の実施
- ・食品表示に関するガイドブックの作成と周知
- ・講習会の実施
- ・会報での情報提供

2. 食品表示管理士検定

協会では食品表示に関するガイドブックを作成し周知している。その内容をより多くの社員に徹底させたいという会員からの要望もあり、2005年から「食品表示管理士検定（S検）」を開始した。食品表示管理士検定には、初級、中級、上級があり、それぞれ年に1～2回実施している。食品表示管理士には、「日本の食品表示に関する法律を熟知している」、「消費者へ正しい食品表示情報を提供することができる」等の能力を求めている。

《食品表示管理士検定（S検）の概要》

受験資格	協会会員のスーパーマーケットに勤務する社員、パートタイマー、アルバイト(学生不可)	
種類	初級・中級・上級	
受験日	初級	年2回
	中級・上級	年1回(春)



《食品表示管理士検定（S検）の風景》

3. 取組の効果等

協会の会員の社員だけでなく、スーパーマーケットに勤務するパートタイマーやアルバイトに対して検定を実施することで、実際に現場で働く多くの人が食品表示を理解する環境ができていくことを目指している。その結果、常に消費者と接する店舗での問題に対して対応が出来るようになる。

検定は1度合格したら終わりではなく、2年ごとの更新制度を取り、その際に講習会を実施することで、新しい法令や社会の変化にも対応できる仕組みとなっている。

(団体の概要)

スーパーマーケット企業の健全な発展と普及を図ることと、産業界におけるスーパーマーケット業界の位置づけを確かなものとするを目的としている。

H26年12月現在、加入事業者は1150社で、店舗にすると1万店舗程度。

〈主な事業内容〉

- (1)スーパーマーケットに関する統計、調査、および研究
 - (2)スーパーマーケット経営に関する相談、指導、診断および教育訓練
- 詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.super.or.jp/>